



下野市立古山小学校
校長室インフォメーション
令和3年度 4月号
令和3年4月14日
発行責任者 梶原 和子



令和3年度がスタートしました。今年度もよろしくお祈りします！

桜もいつしか盛りを過ぎましたが、お健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。
先日、昨年度の校長室通信を読み返してみましたが、巻頭言には毎号新型コロナウイルス感染症のことを書いていました。今年度は、新型コロナウイルス感染症のことを書かずにすむようになればいいなと祈るばかりです。

さて、新年度・新学期です。始業式、入学式を行い、いよいよ令和3年度がスタートしました。新たな気持ちで、新年に立てた今年の目標をこの機会にもう一度見直してみるのもいいでしょう。毎日こんなことをしよう、こんなことはやめようと自分で決め、それを実行し続けていけるといいですね。何をするか、何をしないか自分で決めて、できればそれをノートに書いておいて、時々、自分をチェックしてみてください。何事も「やれば力がついてくる」ものです。つまり、「やらなければ力はついてこない」ということです。人生は、一人で走る駅伝のようなもの、人は昨日まで走ってきた実績という「たすき」を、今日の自分が受け継いで走るのです。しかし、人生の駅伝はコースがたくさんあります。どのコースを選ぶのかは、皆さん自身です。難しいことをしなければならないということでもありません。だれでもその気になれば「できる」ことでいいと思います。人間は横着なもので、よいとわかっていて、しかも、その気になればできることなのに、「しない」ことが多いようです。ですが、この「し続けること」が、自分の力になっていきます。良いとわかることで、自分ができることをし続けてほしいと思います。まさに、本市のスローガン「当たり前のことを当たり前にする」ということです。本校児童には、こうあってほしいと心より期待しています。

新型コロナウイルス対策に十分な配慮をしながら、教職員が一丸となって、より一層の古山小学校の発展に向け努力して参りますので、保護者の皆様のご協力、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

お世話になりました



3月31日に卒業生も参加しての離任式を行いました。児童から花束や「お別れの言葉」を贈り、先生方からもお別れの言葉をいただきました。式終了後は、校庭で児童、教職員全員でお見送りをしました。本校を去る先生方も児童も別れがたく、名残のつきないお見送りとなりました。転出された先生方の新天地でのご活躍を心からお祈りしています。

○森 英治 先生	ご退職	○仲村 亨 先生	小山市立小山城北小学校へ
○加藤 美鈴 先生	国分寺東小学校へ	○田部井 稚菜 先生	宇都宮市立泉が丘小学校へ
○大森 礼子 先生	吉田東小学校へ	○林 麻子 先生	石橋北小学校へ
○町田 歩 先生	栃木市立栃木第五小学校へ	○レニ 先生	静岡県へ

よろしくお祈りします

4月から新たに古山小学校の一員となった先生方を紹介します。これからどうぞよろしくお願いします。コロナ禍の中、心機一転、力を合わせて困難な時を柔軟に対応していきます。これまで同様、心強いメンバーですので、どうぞご安心ください。また、育児休暇でお休みされていた石川 愛先生が復帰されましたので、併せてお知らせいたします。

○和久井 弥生 先生	石橋北小学校より	○石濱 啓貴 先生	国分寺小学校より
○佐藤 のりこ 先生	祇園小学校より	○秋山 啓子 先生	新規採用
○田所 由香里 先生	国分寺小学校より	○大本 潤子 先生	石橋北小学校より
○ケイ 先生	A L T		

令和3年度の児童・教職員のスローガン及び学習指導の重点

○児童 『みんなの心を揃えて前進！ (新生古山サードステージ)』
○教職員 『連携・協働』

～石橋中学校区や地域と連携・協働してよりよい教育活動を推進します～

○昨年度の学力調査の結果から、今年度は「読むこと」「書くこと」の指導を充実させていきます。
○タブレットの効果的活用に努めます。(視覚化・再現可)⇒G I G Aスクールを推進します。



始業式を行いました

4月8日、令和3年度の始業式を行いました。今年度は、体育館には新6年生のみ入り、他学年の児童は、ズーム配信により各教室での参加としました。新6年生は、最上級生なんだという意識からか、表情も昨年と比べて少し大人びて見えました。代表児童の今年度の抱負からも、最上級生としての役割に対しての意欲や、様々な活動に対する希望と期待の言葉がありました。子どもたちにとっても、保護者の皆様にとっても、我々教職員にとっても昨年より充実した、明るい令和3年度になることを願っています。



始業式で話したこと（抜粋）

古山小学校の子どもには、「あ」「き」「こ」の3つができる子どもになってほしいと思います。1つめの「あ」は、毎年話していることですが、あいさつの「あ」です。心温かく、笑顔で学校生活を送るためにも、元気にあいさつをしましょう。先生やお友だちより先にあいさつできる古山小学校一番のあいさつ上手を目指しましょう。

2つめの「き」は、お話の聞き方の「き」です。「耳」で、「目」で、「心」で聴くことを心がけましょう。お話ししている人の目を見て、最後まで黙ってしっかりと聞き、話の内容を頭と心に入れる「聴く」を心がけてください。

3つ目の「こ」は、言葉遣いの「こ」です。言葉遣いによって、相手への伝わり方が変わってきます。相手への思いやり、感謝の気持ちをもった言葉遣いにあふれる学校になると、古山小学校は、元気あふれる笑顔いっぱいの学校になると思います。「してください」「してもいいですか」「お願いします」「～です」などのきちんとした言葉が遣える児童であってほしいと思います。

この「あ」「き」「こ」の3つを頑張ることは、相手を思いやる感謝の心、そして賢い頭と行動をするための力が育つことにつながります。これらが育つと素敵な人間として成長します。みんなで心がけていきましょう。

入学式は、新入生の笑顔があふれていました

4月9日、令和3年度の入学式が挙行されました。今年度は82名の新入生をお迎えしました。今年度も感染症予防のため、在校生の参加は叶いませんでした。でも入学確認では、みんな元気に返事をし、ご来賓のお祝いの言葉をしっかりと聞くことができました。また、新入生とは「よいこの約束」をしました。「よく遊んでよく勉強しましょう」「自分の命や友だちの命を大切にしましょう」「言葉を大事にしましょう」の3つの約束です。この約束をしっかりと守って、これからもっとよい子になってほしいと願っています。



ちょっといい話！！

3月26日に、石橋中央公園で清掃をしてくださっている方から、こんな電話をいただきました。「公園内のごみや落ち葉を掃除していたら、古山小学校の5年生が進んでお手伝いをしてくれました。とって一生懸命に清掃のお手伝いをしてくれて嬉しかったのでお電話しました。」というものでした。こんな素敵な子どもたちがいるなんて、さすが古山小学校の子どもです。その話を聞いて、とても嬉しく思いました。



